

令和5年度事業報告

I. 事業概要

令和5年度の近江八幡市シルバー人材センター事業は下記のとおりとなりました。

会員数	606名	前年度比	102.5%
請負金額	167,010,739円	前年度比	110.4%
派遣金額	124,975,235円	前年度比	110.4%
合計金額	291,985,974円	前年度比	110.4%

地域の高齢者が就業を通じて地域社会に貢献し、生きがいや居場所づくりを提供する事を目的としてシルバー事業に取り組みました。

会員数、請負金額、派遣金額ともに前年度の数値を上回りましたが、未だコロナ禍以前迄回復しておりません。

安全就業関係では年間で事故が12件発生し、令和4年度から倍増しました。

傷害事故は重篤化する傾向にあり、また車両運転による事故も多発しました。

II. 事業詳細

1. 公益社団法人の円滑な運営

市及び国の補助金については、前年度と同一額を確保していただきました。

請負契約金額公民比は、前年度が27.7対72.3、今年度は27.3対72.7となっており、今後も市に対して新規就業の受注や補助金確保に向けた要望を継続します。

会員優待割引制度（フレンドリーショップ）を積極的に展開したことにより、加盟店は120店舗を超え新規就業先の開拓にもつながりました。

2. 会員の増強

令和5年度の入会説明会参加者は、前年度の112名より減少し、87名でした。

ウェブ入会システム、広報はつらつ、ホームページ、市広報紙等を活用する事により、新規入会数は78名となり、会員数は前年度比で15名増となりました。

会員優待割引制度（フレンドリーショップ）を積極的に展開した事で、退会者の抑制にもつながりました。

3. 普及啓発の推進

市広報紙への掲載、「広報はつらつ」の発行、および「事務局だより」の発行により、会員への情報提供や一般市民に対しての啓発を行いました。

シルバー環境美化活動を令和5年10月に実施し、各地区で積極的に取り組んだ結果、会員95名の参加でした。

令和5年12月には、官庁街や安土総合支所の除草奉仕活動を実施し、会員136名の参加でした。

これらのボランティア活動は、市民の方々に対してシルバー人材センターに対する理解を深めていただく事を目的としており、引き続き取り組んでまいります。

また、令和5年11月に「シルバー会員フェスティバル」を会員・家族および知人対象に開催しました。

4. 安全・適正就業の推進

令和5年度の事故発生件数は、賠償責任事故件数8件、傷害事故件数4件の合計12件となり、前年度を大幅に上回りました。

賠償責任事故における車両運転に係わる事故が多発したことから、事故防止と会員の生命を守るため、今後は車両運転業務を制限する事としました。

また、会員の就業実態を調査するために、剪定および除草現場を中心に安全パトロールを年間20回（32箇所）実施しました。

その結果を会員へ周知する事により、安全・適正就業の意識向上を図りました。

5. 就業技術の向上

剪定班会員を対象に技能向上と人材育成を目的とした講習会を、令和5年7月から令和6年2月にかけて4回開催し、延べ29人の参加でした。

除草班リーダー会員を対象に安全教育に関する講習会を、令和6年2月から3月にかけて4回開催し、延べ29人の参加でした。

また、当年度のまとめと次年度の進め方について除草班および剪定班会議を令和6年2月に開催し、110名の参加でした。

6. 部会活動報告

《総務部会》

総務部会は理事会専門部会の各部会長で構成されており、各部会の活動について横断的に話し合う場として協力体制を構築しました。

理事会に提案された案件等について事前に内容を精査検討し、修正を行いながら意見を付して理事会に諮りました。

《広報部会》

会員向け広報誌「はつらつ」を2回（令和5年6月、令和6年1月）発行しました。

また、市民対象に地域版「はつらつ」を1回（令和6年3月）発行しました。

「はつらつ」内の記事で、安全適正就業徹底のお願いを記載したにも拘わらず、事故が急増した事が残念であり、今後広報誌等を通して安全就業意識の向上を図ります。

《安全適正就業部会》

今年度新設された部会として、会員の安全適正就業の推進を図りました。

令和6年1月に安全大会を開催し、80名の参加でした。近江八幡署交通課様及び生活安全課様に、「交通事故防止」「悪徳詐欺被害防止」について講演いただきました。

《事業開拓部会》

救命講習会、法話、スマホ講習会を開催しました。

救命講習会およびスマホ講習会は、多くの方に参加いただき好評でした、

スマホ講習会は人数制限を設けましたが、希望される人数も多かったため、次年度以降も継続して開催したいと考えています。また、健康に関する講習会の開催も検討します。

7. 独自事業活動報告

《リサイクル自転車事業》

会員2名により週2回事業活動を行いました。販売用自転車の供給不足により、需要に応えられない状況が続きました。今後仕入れルートを開拓する等、改善の必要があります。

《なたね栽培事業》

なたね栽培事業は、祭事を中止している団体が多く菜種殻販売の見込みがたたないため、今年度は休止しました。